

平成29年度 広尾高校学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語) 科目：(現代文B) 対象：(第2学年 A組～F組)

教科担当者：(A・D・F組：(印)) (B・C・E組：(印))

教科の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・語彙力等の基本的な知識を強化する。 ・問題演習、読書活動を通じての読解力の向上と、問いに対して的確に表現する力を養う。
-------------	--

	高校入試等の分析結果 前年度学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>・漢字力・語彙力ともに、やや理解が不足しているように思われる。また、評論文に苦手意識をもつ生徒が多く、語彙力も不足しているため、論旨を理解できない生徒が多かった。そのために、全体的に正答率は低かった。評論・小説ともに、語彙力を高め、演習問題を通じて読解力を育成することが課題である。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漢字力の強化。 2. 語彙力の伸長。 3. 読解力・表現力の育成。 4. 指示内容の的確な把握力。 5. 段落構成の正確な把握力の涵養。 6. 主旨や主題の的確な把握力の伸長。 7. 問題演習の機会の提供。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 週1回程度の入試漢字小テストの実施。 2. 語句の意味調べ等。調べ学習の実施。 3. 教材文における指示語と指示内容の確認。 4. 評論文における主旨の把握演習。 5. 作文・小論文指導。 6. 文語文と文語文法演習。 7. 朝学習の実施。 8. 定期考査時に課題集より出題。 9. 長期休業後に課題試験を実施。 10. 学習が十分でない生徒へ補習。 11. 読書指導の実践と図書館利用の推進。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			